

STN から J-STAGE へのリンク

平成14年2月18日に、STN から ChemPort を経由して J-STAGE へのリンクが開始されました。これによって、J-STAGE に掲載されたジャーナルは、世界中の STN ユーザからスムーズにアクセスされるようになりました。

電子ジャーナルのリンク機能は、J-STAGE などの電子ジャーナルシステム上で公開されている論文の流通を向上させる仕組みの一つです。これは、データベースの検索結果や、論文の引用文献 (References) から該当する原文の電子ジャーナルにリンクする機能で、利用者は原文の URL を知らなくても、用意されているボタンをクリックするだけで原文の電子ジャーナルを参照することができます。

現在、様々なデータベースや電子ジャーナルでリンクを促進するための取り組みが進められていますが、JST では、Chemical Abstracts Service (CAS) と協力して、STN (<http://pr.jst.go.jp/db/STN/index.html>) のデータベースの検索結果から J-STAGE の電子ジャーナルへのリンクをリリースしました。STN は世界中の 3 億件もの科学技術情報を掲載した、オンラインデータベース検索サービスで、リリース時点では J-STAGE で公開されているジャーナルの内、36 ジャーナル、約 7,000 論文が STN からのリンク対象となっています。

この STN データベースから J-STAGE へのリンクを実現するために、CAS が提供している ChemPort (<http://chemport.org/>) というサービスを使用しています。これは STN の検索結果から、その原文へのダイレクトなリンクを可能にする Web サービスで、ChemPort の実績としてすでに 2,200 を越えるジャーナルとのリンクを行っています。

今後も、平成14年度より運用を開始する JST リンクセンターとの連携、CrossRef への参加、PubMed からのリンクの実現など、J-STAGE のリンクを一層充実させていく予定です。



STN の検索結果画面



ChemPort 画面



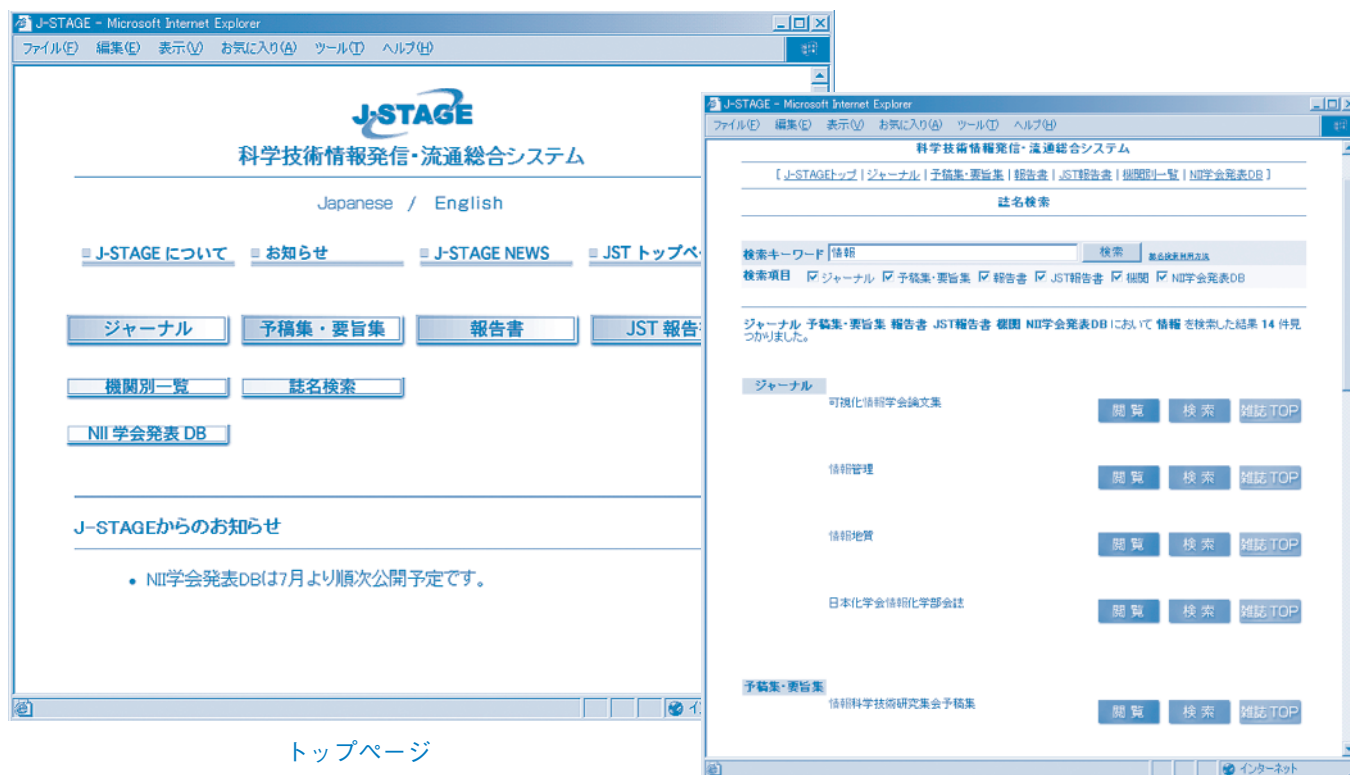
J-STAGE 全文画面

J-STAGE トップページを変更いたしました

この度、NII 学会発表データベースの J-STAGE への移行に伴い、デザインの変更を行いました。これまで同様、利用者の方に「シンプルで分かりやすい」形でお使いいただけるように心がけました。今回の改良のポイントは以下の通りです。

- 1) J-STAGE ではジャーナル以外に予稿集や報告書など様々な種類の記事を掲載していますが、ボタンの色によって、リンク先を目的別に区別することにより、分かりやすい画面を提供いたします。
- 2) 誌名検索の機能の改善を行いました。検索結果においてマッチした部分をハイライト表示するようになりました。

なお、NII 学会発表データベースのデータの公開は、7月より漸次行う予定です。



トップページ

誌名検索画面

NII 学会発表データベースの J-STAGE への移行について

国立情報学研究所 (NII) と科学技術振興事業団 (JST) の情報関係事業の連携・協力に関する基本的方針に基づき、NII にて運用されてきました「学会発表データベース」は平成 14 年度より JST の J-STAGE (予稿集公開システム) に整理・統合されることになりました。予稿集公開システムは学協会における大会運営業務を支援するために、演題の電子投稿から査読支援、予稿集制作・公開までの機能を提供するシステムで、公開のみを利用することも可能となっています。

これまで学会発表データベースを利用されていた学協会のうち移行を希望される学協会については順次、予稿集公開システムへの移行を行っていきます。なお、移行は以下の方法で実施します。

- 1) 平成 13 年度までのデータ JST 側で学会発表データベースのデータを機械的に変換し、J-STAGE へ登載
- 2) 平成 14 年度以降のデータ 予稿集公開システムを利用いただき、学協会側で予稿集を J-STAGE へ登載

平成 14 年 5 月現在、15 の学協会から移行のための申請を受領していますが、他の学協会についても継続して移行の検討を進めています。また、今回の学会発表データベースからの移行を受けて、現行の予稿集公開システムに機能追加を行い、より一層の使い易さの向上を図っていきます。移行に関する詳細については JST 電子ジャーナル部門までお問い合わせください。

PILAへの参加

5月7日に、CrossRefを運営しているPILA (Publisher's International Linking Association) のExecutive DirectorであるEd Pentz氏がJSTを来訪され、JSTの宇津野専務理事とPentz氏がPILAのメンバー契約書ならびにアフィリエイト契約書に署名しました。

これにより、J-STAGEに搭載されているジャーナルとCrossRefに参加しているその他のジャーナルとの相互の引用文献リンクのために必要な作業をJSTが各学会に代わって行うことが可能になります。

実際にCrossRefとのリンクを実現するためには、各学会とPILAとの間で、メンバー契約を結んでいただく必要があります。PILAと各学会との契約の内容や、リンクの開始時期等の詳細につきましては5/22(東京)、5/29(大阪)のJSTリンクセンター説明会でご説明させていただきます。



BIB/CIT作成支援ツールのAccess 2000、2002への対応

学会誌等をJ-STAGEに登載するために用意するデータとして、SGMLやTeXの他にJ-STAGE特有の形式であるBIBファイル、CITファイルがあります。

BIB/CIT作成支援ツールとは、J-STAGE登載用のデータの1つであるBIBファイル、CITファイルの作成を支援するためのツールで、Microsoft®Access上で動作いたします。今までは、Access 97のみの対応とさせていただいておりましたが、この度、Access 2000、Access 2002でもご利用いただけるようになりました。本ツールは無料で提供いたしますので、ご希望の方は、JST電子ジャーナル部門までお問い合わせください。

科学新聞でJ-STAGEが取り上げられました

STNからChemPortを経由してJ-STAGEへのリンクが実現したことが、「日本化学会の英文論文誌世界へ 世界最大化学情報データベースとリンク“日本発”の注目度増大」という見出しで科学新聞(2002年3月22日発行号)に取り上げられました。

本記事は、J-STAGEで公開されている電子ジャーナルのうち、冊子体発行と同時にJ-STAGEで公開をしている日本化学会の英文論文誌である「Chemistry Letters」と「Bulletin of the Chemical Society of Japan (BCSJ)」を取り上げ、これらの電子ジャーナルがJ-STAGEを利用することで、日本の雑誌として初めてSTNからのリンクを実現し、実現して3週間という短い間にも海外からのアクセスが1,000件にも達しようとしていると報じました。

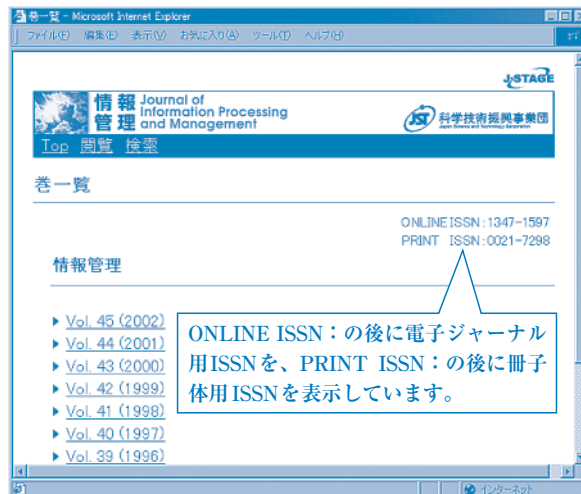
また、「効果的な情報発信方法を選択することで、日本の論文誌やそこに掲載された論文の評価が飛躍的に高まることが証明されつつある」と述べ、電子ジャーナルが情報の国際流通の促進に有効な手段であると評価しています。(科学新聞より一部転載)

電子ジャーナル用 ISSN 取得のお願い

ISSNとは、International Standard Serial Number（国際標準逐次刊行物番号）の略で、逐次刊行物を国際的に識別するために付与される番号です。内容が同じでも媒体が違う場合（ひとつの雑誌を、印刷物とオンラインジャーナルの両方の形で出版する場合等）は、それぞれ別のISSNとなります。

J-STAGEでもこの5月より電子ジャーナル用ISSNを表示するようになりましたので、冊子体用ISSNに加えて電子ジャーナル用（J-STAGE用）のISSNの取得をよろしくお願いいたします。

ISSN取得に関する詳細につきましては、ISSN日本センターである国立国会図書館 書誌部 逐次刊行物課 整理係 (<http://www.ndl.go.jp/toukan/isds.html>) にお問い合わせください。



掲載誌が増えました

4月30日現在、J-STAGEに掲載されている資料は、85誌（ジャーナル67誌、予稿集・要旨集2誌、報告書16誌）です。J-STAGE NEWS No.4以降、新たに掲載されたものは、下記の13誌です。

	誌名	学会名
ジャーナル	Biological & Pharmaceutical Bulletin	社団法人 日本薬学会
	Chemical & Pharmaceutical Bulletin	社団法人 日本薬学会
	Circulation Journal ^{*1}	社団法人 日本循環器学会
	Genes & Genetic Systems	日本遺伝学会
	Journal of Chemical Engineering of Japan	社団法人 化学工学会
	Journal of Health Science	社団法人 日本薬学会
	気象集誌	社団法人 日本気象学会
	Plant Biotechnology	日本植物細胞分子生物学会
	Theoretical and Applied Mechanics Japan	National Committee for Theoretical and Applied Mechanics, Science Council of Japan
	人工知能学会論文誌	社団法人 人工知能学会
	日本化学会情報化学部会誌	日本化学会情報化学部会
	日本航空宇宙学会論文集	社団法人 日本航空宇宙学会
	日本生気象学会雑誌	日本生気象学会

*1 「Japanese Circulation Journal」の誌名変更に伴い、新規ジャーナルとして1誌掲載（変更前のものも継続掲載）。

■ 編集後記 ■

♪J-STAGE NEWSを担当して早1年。紙面で紹介するジャーナル等も増え、嬉しい限りです。今後ともどうぞよろしくお願ひします。（さ）

★J-STAGEおよびJ-STAGEニュースに関するご意見・ご質問をお待ちしております。

E-MAIL contact@jstage.jst.go.jp